

第一編 政治

第一章 佐々・加藤の時代

第一節 佐々時代

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
1		九州御勤座記	(天正十五年三月朔日より)	3
2		豊臣秀吉朱印状	(天正十五年)卯月十五日	4
3		豊臣秀吉朱印状	(天正十五年)卯月廿日	5
4		豊臣秀吉朱印状	(天正十五年)六月二日	6
5		豊臣秀吉領知宛行状	天正拾五年六月二日	6
6		豊臣秀吉朱印状写	天正十五年六月六日	7
7		古町長左衛門先祖拝領書出写	(天正十五年)八月十七日	7
8		佐々成政書状	(天正十五年)八月廿四日	7
9		豊臣秀吉朱印状	(天正十五年)九月七日	8
10		豊臣秀吉朱印状	(天正十五年)九月八日	8
11		豊臣秀吉朱印状	(天正十五年)九月八日	8
12		豊臣秀吉朱印状	(天正十五年)九月廿一日	9
13		豊臣氏奉行連署状	(天正十五年)十月十四日	9
14		安国寺惠瓊書状	(天正十五年)十一月廿六日	10
15		佐々成政書状	(天正十五年)十二月廿四日	11
16		フロイス書翰	(天正十五年末)	11
17		戸田勝隆他二名連署定書	天正十六年三月十六日	12
18		相良統俊肥後国検地覚書	(年月日欠)	12
19		安国寺惠瓊書状	(天正十六年)正月廿日	13
20		生駒近親(親正)他八名連署書状写	天正十六年五月十五日	14
21		毛利吉成書状	(天正十六年)五月十五日	14
22		豊臣秀吉朱印状	(天正十六年)五月廿五日	15
23		加藤清正定書	天正拾六年後五月六日	15
24		豊臣秀吉朱印状	天正十六年後五月十四日	16

第二節 加藤時代

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
25		豊臣秀吉領知朱印状	天正十六年後五月十五日	18
26		豊臣秀吉領知朱印状	天正十六年閏五月十五日	18
27		豊臣秀吉朱印状	(天正十六年)後五月十五日	18
28		古町長左衛門先祖拝領書出写	(天正十六年)七月十日	19
29		豊臣秀吉朱印状	(天正十六年)八月十日	19
30		豊臣秀吉朱印宛行状写	天正十六年八月十日	19
31		豊臣秀吉領知朱印状	天正十六年八月十二日	20
32		豊臣秀吉領知朱印状	天正十六年九月四日	20
33		古町長左衛門先祖拝領書出写	(天正十七年)七月十七日	20
34		加藤清正書状写	(天正十七年)	20
35		加藤清正領知宛行状	天正十七年八月廿八日	21
36		加藤清正領知宛行状	天正十七年八月廿八日	21
37		梶原助兵衛預ケ状	天正十七年拾二月廿三日	21
38		加藤清正書状	(天正十七年)十二月廿九日	21
39		加藤清正書状	(天正十八年)二月廿六日	22
40		加藤清正自筆書状	(天正十八年)四月廿四日	22
41		加藤清正自筆書状	(天正十九年)	23
42		加藤清正陣中法度	(天正十九年)正月日	23
43		加藤清正書状	(天正十九年)八月六日	24
44		加藤清正書状	(天正十九年)八月十三日	25
45		加藤清正領知宛行状	天正十九年十月四日	28
46		加藤清正領知宛行状写	天正十九年十月四日	28
47		加藤清正書状	(天正十九年)十月十六日	29
48		豊臣秀吉朱印状	(天正二十年)六月十八日	29
49		豊臣秀吉朱印状	(天正二十年)六月十八日	29
50		井上弥一郎梅北一揆始末覚	(天正二十年)	30
51		加藤清正覚書案	(文禄元年)九月廿一日	32
52		下川兵大夫書状	(文禄元年)十一月十二日	36
53		加藤清正書状	(文禄二年)卯月十四日	37
54		加藤清正書状	(文禄二年)卯月廿八日	38
55		加藤清正書状	(文禄二年)卯月廿八日	39
56		豊臣秀吉朱印状	(文禄二年)五月朔日	40
57		加藤清正書状	(文禄二年)五月廿五日	41
58		加藤清正書状	(文禄二年)六月朔日	41
59		加藤清正起請文	(文禄二年)八月六日	43
60		加藤清正書状	文禄二年八月八日	44
61		加藤清正書状	(文禄二年)八月廿三日	49

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
62		加藤清正書状	(文禄二年カ)十月廿六日	49
63		加藤清正書状	(文禄二年カ)十二月四日	50
64		加藤清正書状	(文禄三年)二月二日	51
65		加藤清正書状	(文禄三年)三月四日	52
66		加藤清正書状	(文禄三年)三月十二日	54
67		加藤清正書状	文禄三年卯月廿九日	56
68		加藤清正書状	(文禄三年カ)十月廿五日	62
69		加藤清正書状	(文禄四年カ)十一月廿一日	63
70		加藤清正書状	(文禄四年カ)十一月廿八日	64
71		加藤清正書状	(文禄五年)閏七月十五日	67
72		加藤清正領内定条々	(文禄五年)八月廿八日	68
73		加藤清正感状写	慶長三年十月廿三日	69
74		加藤家重臣連署書状	(慶長四年カ)三月廿五日	69
75		加藤清正書状	(慶長四年カ)三月廿六日	70
76		加藤清正書状	(慶長四年)五月十四日	71
77		加藤清正書状写	(慶長五年カ)九月一日	71
78		加藤清正書状写	(慶長五年)九月七日	71
79		加藤清正自筆書状	(慶長五年カ)九日	72
80		加藤清正書状	(慶長五年)十月廿四日	72
81		加藤清正書状	(慶長五年)十月廿六日	73
82		加藤清正書状	(慶長五年カ)十一月三日	74
83		加藤清正書状	(慶長五年カ)十一月十五日	74
84		加藤清正書状	(慶長五年)十一月十八日	75
85		肥後国拝領郡石高覚	(年月日欠)	76
86		加藤清正知行宛行状	慶長六年十二月十七日	76
87		加藤清正自筆書状	(慶長七年カ)八月廿七日	77
88		後陽成天皇口宣案	慶長八年三月廿五日	78
89		加藤清正書状	(慶長八年)十月九日	78
90		加藤清正書状	(慶長九年カ)卯月廿一日	78
91		加藤清正書状	(慶長九年カ)七月十日	79
92		加藤清正知行宛行状	慶長九年十月十三日	79
93		加藤清正書状写	(慶長十一年カ)二月十七日	79
94		加藤清正書状	(慶長十一年カ)五月廿一日	79
95		加藤清正書状	(慶長十年カ)七月十三日	79
96		加藤清正書状	(慶長十一年)十二月廿日	80
97		加藤清正書状	(慶長十二年カ)卯月廿四日	80
98		加藤清正黒印状写	(慶長十二年カ)七月廿二日	81
99		加藤清正書状	(年欠) 二月八日	81
100		肥後・豊後各郡村数・物成高数調	(慶長十二年頃カ)	82
101		加藤氏触書写	慶長十二年口月七日	83
102		加藤清正黒印状	慶長十三年九月十三日	83
103		安南国端公書翰	弘定拾年五月拾柒日	84
104		安南国端公書翰	弘定十一年五月二十四日	84
105		加藤清正書状	(慶長十五年)卯月廿五日	84
106		加藤忠広書状	(慶長十六年)六月廿八日	85
107		織田常真書状	(慶長十六年)七月十一日	85
108		加藤清正書状	(年欠) 十二月十六日	85
109		肥後国熊本様子聞書	(慶長十六年)七月十日	86
110		加藤家家臣知行高書上案	慶長拾六年七月	90
111		加藤家家臣起請文案	慶長拾六年八月十四日	92
112		徳川家康領知安堵状写	慶長十七年六月十四日	93
113		肥後熊本世間取沙汰聞書	慶長十七年	93
114		加藤忠広知行高書上案	慶長十九年三月三日	98
115		相田天心添状	(元和三年カ)十月八日	98
116		加藤忠広書状	(元和三年カ)十月八日	98
117		加藤忠広書状	(元和九年)六月四日	98
118		加藤家公事言上書・処分書	(元和四年五月~八月)	99
119		加藤忠広江戸御普請出人数覚	(年月日欠)	107
120		加藤忠広書状	(寛永三年カ)六月五日	107
121		加藤忠広書状	(寛永三年カ)十一月十五日	108
122		加藤忠広江戸普請人積	寛永六年	108
123		三郎丸能治書状	(寛永八年)二月十四日	109
124		細川三斎書状	(寛永九年)五月十五日	109
125		細川忠利書状案	(年欠) 五月十六日	112
126		細川三斎書状	(寛永九年)五月廿四日	113
127		細川三斎書状	(寛永九年)五月廿八日	114
128		加藤家滅亡之節仰渡さるの覚	(年月日欠)	116
129		細川三斎書状	(寛永九年)六月朔日	116
130		細川三斎書状	(寛永九年)六月二日	117
131		細川忠利書状案	(寛永九年)六月六日	118
132		細川三斎書状	(寛永九年)六月六日	119

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
133		細川忠利書状	(寛永九年)六月十三日	120
134		幕府奉行衆連署書状	(寛永九年)六月十三日	122
135		細川三斎書状	(寛永九年)六月十四日	122
136		細川忠利書状	(寛永九年)六月十六日	123
137		細川忠利書状	(寛永九年)六月廿二日	123
138		細川忠利書状案	(寛永九年)六月廿七日	124
139		細川忠利書状	(寛永九年)	125
140		細川忠利書状	(寛永九年)七月朔日	126
141		細川忠利書状	(寛永九年)七月十三日	127
142		細川三斎書状	(寛永九年)七月十七日	127
143		熊本城受取上使衆覚	寛永九年七月	129
144		熊本城受取上使衆覚書	寛永九年	130
145		肥後国制札覚	寛永九年七月	131

第二章 細川氏の政治

第一節 細川氏の入国

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
146		細川忠利書状	(寛永九年)十月四日	132
147		細川忠利書状	(寛永九年)十月六日	132
148		細川忠利書状	(寛永九年)十月七日	134
149		細川忠利書状	(寛永九年)十月八日	134
150		江戸幕府老中連署法度書	寛永九年十月十六日	136
151		細川忠利書状案	(寛永九年)十月廿日	137
152		御入国之節道筋奉行役覚書	(寛永九年)霜月朔日	137
153		細川氏家老連署書状	(寛永九年)霜月十四日	139
154		細川忠利書状案	(寛永九年)十二月九日	139
155		細川氏家老連署書状	(寛永九年)十二月九日	141
156		小笠原長良他一名書状	(寛永九年)十二月十日	141
157		細川忠利覚書	寛永九年十二月廿三日	142
158		細川三斎書状	(寛永九年)十二月廿五日	142
159		伊丹康勝書状	(寛永九年)極月廿七日	144
160		細川忠利書状案	(寛永九年)十二月廿七日	144
161		細川忠利書状案	(寛永九年)十二月廿七日	145
162		細川忠利書状案	(寛永十年)正月三日	146
163		國中申渡条々	寛永十年二月五日	147
164		細川氏家老連署書状	(寛永十年)二月十八日	148
165		細川忠利自筆覚書	(寛永十年)三月七日	148
166		榊原職直書状	(寛永十年)三月十九日	148
167		細川忠利書状	(寛永十年)三月廿四日	151
168		細川忠利書状	(寛永十年)三月廿四日	152
169		細川忠利書状	(寛永十年)五月十一日	152
170		細川忠利書状	(寛永十年)七月五日	153
171		細川忠利書状	(寛永十年)八月朔日	153
172		細川忠利請書写	(寛永十一年)二月廿八日	155

第二節 領知

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
173		細川氏領知判物・領知目録写		
	1	元和三年領知判物写	元和三年五月廿六日	158
	2	寛永十一年領知判物写	寛永十一年八月四日	158
	3	寛文四年領知判物写	寛文四年四月五日	158
	4	貞享元年領知判物写	貞享元年九月廿一日	159
	5	正徳二年領知判物写	正徳二年四月十一日	159
	6	延享三年領知判物写	延享三年十月十一日	160
	7	宝暦十一年領知判物写	宝暦十一年十月廿一日	160
	8	天明八年領知判物写	天明八年三月五日	160
	9	天保十年領知判物写	天保十年三月五日	161
	10	安政二年領知判物写	安政二年三月五日	161
	11	安政七年領知判物写	安政七年三月五日	162
	12	安政七年領知目録	安政七年三月五日	162
	13	慶応四年郡村帳目録覚	慶応四年八月	164
174		寛文四年領知目録	寛文四年八月	164
175		嘉永七年相模国御備場に付き細川預所		
	1	相模・武蔵国預所郷村帳	(嘉永七年)四月	166
	2	相模・武蔵国預所様子申上状	(嘉永七年)閏七月十八日	167
	3	相模・武蔵国村々夫免除伺書	嘉永七年十月	169
176		明治元年細川藩支配武蔵・下総両国領地高	慶応四年八月	171

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
177		明治二年北海道二郡開拓		
	1	太政官達	(明治二年)八月	172
	2	北海道開拓希望者募集状	(明治二年)十月六日	173
	3	北海道開拓用懸任命書	(明治二年十一月)十四日	173

第三節 熊本城

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
178		熊本城御普請に付き幕府通達		
	1	松平信綱書状	寛永拾三年七月十四日	174
	2	阿部忠秋返書状	寛永拾三年七月十八日	174
	3	松野織部・加々山主馬口上の覚	寛永十四年	175
	4	戸田氏鍊書状	(寛永拾五年)卯月十四日	175
	5	酒井忠勝書状	(寛永十五年)七月三日	176
	6	阿部忠秋書状	寛永十五年七月四日	176
	7	酒井忠勝書状	(寛永十五年)九月二日	177
179		御自分御普請(抄)	(元和～寛永年中)	177
180		御本丸・御櫓・石垣等高さの覚	寛文六年二月十二日	201
181		熊本城廻目録	(年月日欠)	203
182		熊本城御間張付・畳目・絵師の覚	(年欠) 正月	207
183		熊本城登城の節の順道及び天守・座敷絵師・地形・本丸座敷・奉行所間畳数等覚書	(年月日欠)	213

第四節 御花畑・白金屋敷・御茶屋

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
184		熊本城曲輪・御花畑・白金御屋敷・水前寺御茶屋・二の丸居屋敷等坪数の覚書	(年月日欠)	221
185		御茶屋覚書	(年欠) 六月	222

第五節 役所・職制

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
186		寛永十年各奉行附家臣	寛永十年八月十八日	225
187		寛永十六年諸御奉行附・御番衆帳	寛永十六年三月廿五日	229
188		宝暦五年御役所分職	宝暦五年六月十一日	259
189		天保期細川藩職制	天保六年九月	262
190		明治二年熊本藩職制及び坐班・官俸等級		
	1	熊本藩制	(明治二年)	298
	2	明治二年熊本藩坐班式	(明治二年)十二月	299
	3	明治二年諸間改名・官俸等級の覚	(明治二年)十二月	303

第六節 行政・財政

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
191		細川重賢御事跡 以德政要	宝暦十三年	308
192		科人誅伐仰付けられ様の覚	(寛文十二年)五月廿七日	321
193		刑法例書・刑法草書		
	1	刑法例書	(年月日欠)	326
	2	刑法草書	(年月日欠)	333
	3	刑法草書	(年月日欠)	344
194		細川綱利跡目相続、及び長岡佐渡諫言の秘書	(慶安二年～万治三年)	355
195		堀平左衛門封事遺書	慶安五年	367
196		諫言の覚 田中左兵衛封事	寛文六年	372
197		吉村文右衛門上書	延享三年六月廿一日	382
198		大塚退野の田地上ヶ高に付いての申上覚	(寛延ごろ)	392
199		益田弥一右衛門言上書及び堀平太左衛門申開書	安永三年十月	397
200		中山市之進封事達書	文化九年八月十五日	418
201		御蔵納御給知年々免付	(寛永十～元禄十三年)	428
202		承応二年大積目録	承応二年	438
203		元禄六年以降御蔵納・御給知・上知高等積目録		
	1	元禄六年覚	(元禄六年)十二月十九日	441
	2	宝永三年覚	(宝永三年)三月	442
	3	宝永五年覚	(宝永五年)七月	443
	4	宝永六年覚	(宝永六年)六月十一日	444
	5	享保二年覚	(享保二年)十一月	445
	6	天明八年覚	(天明八年)正月	446
	7	寛政十年覚	(寛政十年)五月	447
	8	文化八年覚	(文化八年)二月	448
	9	天保八年覚	(天保八年)三月	449
204		宝暦元年大積目録	宝暦二年三月	451
205		明和七年御積目録	明和八年二月	456
206		安永四年御積目録	安永五年九月	460
207		宝暦以来御勝手向御繰合の様	天保九年十二月廿日	465

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
208		文化十一年諸間拝借金等御取立に付き御達	(文化十一年)	473
209		弘化三年御出納四ヶ年平均、及び三割減調	弘化三年八月	478

第七節 幕府と藩

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
210		寛永十三年江戸御普請		
	1	江戸御普請御侍衆人数	寛永十二年八月廿九日	496
	2	江戸御普請役高覚	寛永十三年正月日	504
	3	江戸御普請諸入金銀諸払目録	寛永拾三年七月五日	504
	4	江戸御普請諸入金銀諸払目録	寛永拾三年九月廿三日	506
211		正保二年江戸参勤諸役付	正保二年二月六日	508
212		慶安二年江戸参勤御供衆	慶安二年三月	512
213		参勤・帰国御供人数及び諸渡方調	(文化九年)九月	530
214		文久二年参勤制度等の改革		
	1	将軍一橋慶喜書状	文久二年八月廿七日	539
	2	参勤制度等改革令	(文久二年)閏八月	541
215		公儀よりの預り人		
	1	寛永十一年覚	(寛永十一年)三月五日	543
	2	寛永十九年御預ヶ人の覚	寛永拾九年八月五日	544
	3	細川忠利覚書	(年欠) 十月廿日	544
	4	稲葉正則書状	(年月日欠)	545
	5	細川綱利書状	延宝四年五月廿五日	546
	6	幕府御奉書写	(延宝四年)五月廿五日	546
	7	御尋に付き申上覚	延宝四年七月十九日	547
	8	伊藤権兵衛御番仕様の覚書	正保三年十月六日	548

第八節 初期の軍事

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
216		島原の乱		
	1	寛永十四年用船・加子に関する細川忠利書状	(寛永十四年)十一月廿五日	550
	2	人数乗組舟数の覚	(年月日欠)	551
	3	松井興長・米田是季書状	(寛永十四年)十二月四日	551
	4	米田是季書状	(寛永十四年)十二月十日	553
	5	阿部正次他三名連署書状	(寛永十四年)極月十五日	553
	6	下村五兵衛他一名連署書状	(寛永十四年)十二月十五日	554
	7	松井興長・米田是季書状	(寛永十四年)十二月十五日	554
	8	島原派兵の覚書	(寛永十四年)	555
	9	長岡式部組派兵人数の覚	寛永拾五年正月十六日	556
	10	寛永十五年御旗本人数武具数の覚	(寛永十五年)正月十七日	560
	11	寛永十五年派兵人数差出	寛永十五年正月十七日	560
	12	手負討死数目録	(寛永十五年)二月廿九日	561
	13	島原の陣人数の覚	寛永十五年三月三日	561
	14	寛永十五年御扶持受取の覚	寛永十五年三月四日	562
	15	城一番・二番乗の他、手柄衆の書付	寛永拾五年五月三日	563
	16	有馬参陣人数の覚	慶安元年七月十一日	564
	17	有馬褒美衆の覚	寛文元年八月廿八日	564
217		正保四年長崎警備御船配帳	正保四年七月十六日	568
218		天草富岡御在番		
	1	正保二年天草御城番申上覚	正保三年八月廿七日	582
	2	慶安元年天草御城番覚	慶安元年五月十日	584
	3	承応二年天草御城番覚	承応二年七月十五日	585

第九節 幕末の政治と軍事

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
219		異国船渡来の節の陣場諸手当	弘化五年二月	588
220		実学派名附		
	1	実学派の役付者届出	(年月日欠)	600
	2	実学派名附	(年月日欠)	601
221		横井小楠の時務策	(年月日欠)	603
222		文久二年尊王攘夷論		
	1	清田新兵衛書状	(文久二年)四月廿四日	616
	2	小笠原長洪・松野亘書状	(文久二年)四月廿六日	619
	3	清田新兵衛書状	(文久二年)五月四日	621
	4	小笠原長洪・松野亘書状	(文久二年)五月六日	623
223		嘉永六年相模国本牧地の異国船警備		
	1	相州本牧表警備配備に関する書状	(嘉永六年)八月晦日	627
	2	嘉永六年相州警備御用金覚	(嘉永六年)十一月	629
	3	嘉永七年相州陣屋へ指越候惣人数附	(嘉永七年)	630
	4	嘉永七年相州御備各台場の覚	嘉永七年四月	634
	5	安政二年相州御備場大砲并附属御道具帳	安政二年三月	642

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
224		小倉出兵・再出兵		
	1	小倉警備一番手出兵人数	(元治元年)八月	652
	2	小倉警備二番手出兵人数	(元治元年)十一月	653
	3	長岡護美出兵供人数	(元治元年)十一月十一日	654
	4	小倉出兵延引の届と出兵人数	(元治元年)十一月廿五日	657
	5	細川慶順書状	(慶応元年五月廿四日)	661
	6	慶応二年長州再征軍配覚	(慶応元年)六月六日	662
	7	有吉立愛、長州再出兵計画書状	(慶応元年)六月十九日	663
	8	米田是豪書状	(慶応二年)七月廿七日	665
225		戊辰戦争出兵		
	1	細川護久出兵覚	(慶応四年)二月八日	666
	2	戊辰戦争軍資金上納	(慶応四年)六月七日	666
	3	物書役北野角太郎探索書	(明治元年)七月三日	667
	4	会津出兵軍需品箇数附	(明治元年)七月廿三日	669
	5	会津出兵人数	(明治元年)八月十日	670
	6	会津出兵諸費用覚	(明治元年)十一月	672

第二編 宗教と教育と文化

第一章 宗教

第一節 寺社

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
226		寺社本末		
	1	府内・飽田・詫摩郡神社本末(抄)	正徳五年八月	679
	2	府内・飽田・詫摩郡天台宗本末(抄)	正徳五年八月	685
	3	府内・飽田・詫摩郡真言宗本末(抄)	正徳五年八月	692
	4	府内・飽田・詫摩郡禅宗寺院本末(抄)	正徳五年八月	693
	5	府内・飽田・詫摩郡法花宗本末(抄)	正徳五年八月	710
	6	府内・飽田・詫摩郡浄土真宗東派本末(抄)	正徳五年八月	718
	7	府内・飽田・詫摩郡浄土真宗西派本末(抄)	正徳五年八月	724
	8	府内・飽田・詫摩郡山伏并西本願寺派本末(抄)	正徳五年八月	736
227		池田手永寺社堂宇間数改帳	文政九年五月	740
228		蓮台寺及び檜垣塔由緒	(年月日欠)	796
229		岩戸観音由緒	(年月日欠)	799
230		大慈寺草創由来記(抄)	元禄九年	801
231		北岡神社由緒沿革	寛政二年八月	807
232		健軍社縁起	文化五年	819
233		代継神社由来縁起	明治二年二月	825
234		藤崎宮社領		
	1	加藤清正寄進状	天正拾六年九月八日	828
	2	藤崎宮神領配分注文	(慶長四年)十一月九日	828
	3	細川忠利社領寄進状	寛永拾年正月七日	829
	4	細川忠利差紙写	(寛永十年正月廿二日)	829
235		本妙寺寺領		
	1	加藤平左衛門尉米寄進状	慶長十七年十一月廿四日	829
	2	細川忠利寺領寄進状	寛永拾年九月朔日	830
	3	細川忠利隠居領寄進状	寛永拾壹年拾月廿六年	830
236		天福寺寺領		
	1	細川綱利寺領寄進状	延宝八年七月十日	830
	2	天福寺寺領所付目録	延宝八年八月廿四日	831
237		泰勝寺寺領		
	1	泰勝寺寺領物成	(文化七年)十月	831
	2	泰勝寺寺領物成	(文化七年)十一月廿一日	831
238		安国寺寺領		
	1	安国寺知行所人畜改帳	宝永四年四月	832
	2	安国寺寺領物成	文化十一年十月	835
239		藤崎宮掟書	万治四年三月廿五日	836
240		本妙寺掟書		
	1	本妙寺末寺へ申達掟	延宝五年正月十五日	837
	2	享保十三年本妙寺掟	享保十三年三月	839

第二節 布教と祭礼

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
241		天正十六年参宮帳(抄)	天正十六年	840
242		藤崎宮祭礼		
	1	藤崎宮祭次第書上	寛永十年正月十九日	841

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
	2	藤崎宮神事乗馬役書上	(年月日欠)	843
243		川尻若宮社宮座旧記	宝暦九年九月	843

第三節 本末と壇家

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
244		本末争論	(寛文五年カ)	857
245		壇家争論	元文三年	861

第四節 キリシタン

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
246		キリシタン宗門改め		
	1	キリシタン宗門改めの仰付け覚	(寛文十二年三月)	871
	2	宗門手形	寛文四年六月廿九日	873
	3	切支丹宗門改起請文	嘉永五年十一月	874
	4	切支丹影踏み時、歩行難成病人改め帳	嘉永七年四月	874
247		キリシタン類族改め		
	1	領内キリシタン、長崎送りの書状	(寛文ごろ)	879
	2	キリシタン転び起請文	慶安貳年二月十七日	883
	3	キリシタン類族覚	貞享四年九月十八日	884
	4	①キリシタン類族病死者覚(抄)	宝永二年七月廿八日	884
		②キリシタン類族病死者覚(抄)	宝永二年十二月廿七日	888
248		小笠原玄也の形見送りと書状	寛永十二年	891

第二章 教育と文化

第一節 教育制度と法令

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
249		時習館学規	宝暦五年二月	911
250		再春館会約	宝暦七年正月	920
251		学校方の諸規式	(宝暦四年～慶応三年)	928

第二節 教育施設・内容

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
252		時習館並びに東・西樹教法	(年月日欠)	968
253		時習館学校職員	(年月日欠)	971
254		居寮生選び方の覚	(天保八年より)	973
255		町家の手代・下人等仕立の覚	(寛政二年)二月九日	979
256		詫摩郡本庄・田迎手永村々手習師匠名前、及び手習子供人数	文政十年十一月	981
257		学校教育仕法の伺書	(明治二年)	986

第三節 文化

史料番号	枝番号	表題	日付	頁
258		茗理正伝	宝暦七年	990
259		小堀流游水術	宝暦六年三月	1010
260		芍薬品評会	天明八年	1029
261		寛政二年吉田司家、観進相撲興行見分の願書、及び司家由諸	寛政二年四月	1036
262		御能の仕舞覚と御稽古名付け		
	1	御能について御尋の覚	(享保十二～十三年)	1043
	2	御能稽古の大名・肥後家臣名付け	(年欠)二月	1049
263		藩主御祝儀及び藤崎宮・祇園会御能番組		
	1	寛文元年御入国御祝儀御能番組	寛永元年六月六日	1051
	2	天保七年少将御拝任御祝能(抄)	天保七年十二月	1052
	3	享保七年藤崎宮放生会御能組	(享保七年)	1055
	4	享保十年藤崎宮放生会願書	享保十年八月十五日	1056
	5	藤崎宮放生会御能組	(年月日欠)	1056
	6	祇園会御能組	(年月日欠)	1057
264		下河原勤進能及び西光寺・六所宮能番組	寛政三年四月・九月	1058